様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島大学
設置者名	国立大学法人 鹿児島大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法 や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

鹿児島大学では、全学教務委員会において、シラバスの全学的なガイドラインを定め、設けるべき項目、記載すべき内容及び留意事項等を明示している。当該全学的なガイドラインに従って、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を全学部において作成している。

公表時期については、学生が履修登録の際に授業科目の選択に資するよう当該年度が開始される前にはホームページ上に掲載している。

全学的ガイドライン

○授業計画(シラバス)作成のガイドライン

・編集言語の選択 〇日本語

○日本語・英語を編集 …日本語項目及び英語項目を入力してください。 ○日本語のみ編集 … 英語項目に日本語の項目が表記に書きうされます。 ○英語のみ編集 …日本語項目に英語の項目が転記に書きうされます。

2. シラパス 領集項目(全学統一) 編集項目	入力	編集項目は、シラバス入力画面の項目順に並んでいます。 の音楽値など			
柳承坝口 開設年度	区分	留意事項など			
Academic year	必須	逐用管理者により設定済みです。			
子刑	必须	プルダウンから選択すること。【前期、後期、通年・・・・第4ターム】			
Samester 学年 Year level	必須	ブルダウンから選択すること、【1年、2年・・・6年】			
曜日	必須	チェックボックスから選択すること。【月、火・・・集中、不定、その他】			
Day of week 時限	必須	チェックボックスから選択すること。【1限、2限・・・集中、不定】			
Period 履修期	任意	ブルダウンから近視すること。【1 期、2 期・・・・1 2期など】又は直接機集(自由組造)も可能です。【1 期~2期等】			
Year/Semester/Torm ナンパリングコード	任意	A CONTRACT OF THE RESIDENCE OF THE PROPERTY OF			
Course Coding 科日名	必須	でおお見る/ロナツ書の(学り書の)たりキナテート			
Course title 開設部局		授業科目名(日本語表記・英語表記)を入力すること。 			
Faculty Offering Course 学科・プログラム等	必須	ブルダウンから選択すること、【共通教育センター、〇〇学部、〇〇研究科】			
Department*Program etc.	任意	チェックボックスから選択すること。			
科目区分 Subject Type	必須	ブルダウンから選択すること。【必修、選択必修、選択、自由、敬職、その他、要件外】			
授業形態 Mode of Instruction	必須	ブルダウンから選択すること。【講義、実験、実習、演習、実技、講義と演習、講義と実習、その他】			
対面/遠隔 Course Delivery	必須	ブルダウンから選択すること。【対面授業、遠隔授業、対面および遠隔授業(対面50%は上)、対面および遠隔授業(対面50%未満)】 ※「ハイフレックス型授業(対面指定0%+遠隔指定0%+対面・遠隔の選択自由100%)」の場合は【遠隔授業】を選択すること。			
授業方法 Teaching Method	任意	該書する場合、ブルダウンから選択すること。【アクティブラーニング、アクティブラーニング(グルーブワーク)など】又は 底接編集(自由記述)も可能です。			
授業回数 Scheduled Class	必須	ブルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【16回、8回・・・・不定、その他】			
单位改 Gradita	必須	ブルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【1単位、2単位・・・等】			
担当教員	必須	主担当教員氏名(日本語表記・英語表記)を入力すること。			
Instructor 共同担当教員	任意	副担当教長氏名(日本語表記・英語表記)を入力すること。			
Instructor 連絡先(TEL)	任意				
Contact(TEL) 連絡先(MAIL)	任意				
<u>Contact(MAIL)</u> 授業概要(目的・内容・方法) Course outline	必須	子徳目標にどのように繋がるのかを表頭に置いて、投幕の目的・内容・方法等(ロ木語表記・英語表記)を入力すること。 位達那部は構造、流覚、美国音の組合せ、パランス、子音情報法(ウ木素材法、対抗・封鎖型投集、多様なメディアの活用、能力別 域や・ファドスカに対しまる。			
李修日標	必須	援業を受けることにより、どのような知識・能力が身につくのか、具体的内容(日本語表記・英語表記)を入力すること。			
Gourse objective 授業計画	d2-38	各回(同じ単元等が複数回ある場合、数字などを記載)の内容(日本語表記・英語表記)を入力すること。			
Details for Individual Classes 準備学修に必要な学修時間の目安	必須	日本のでは、			
Estimated out-of-class study time	92/30	業は30時間分(2h×15コマ)となるため、50時間分相当の事前・事後学修(課題等含む)が、投業の理解を深めるために必要となる。等】			
教科書 Textbook	必須	教科書名(日本語表記・英語表記)を極力具体的に記入すること。 「ISISN検索」を利用すると自動表記(複数を配可削)されます。 ※完全な情報ではないため、必ず確認のうえ、必要に応じて追記すること。 教科書を用意する必要がない場合は「特になし」と入力すること。			
参考書 Reading list	任意	参考書名(日本語変記・英語表記)を極力具体的に記入すること。 「ISBN機能」を利用すると自動表記・機能を指記可能)されます。例完全な情報ではないため、必ず確認のうえ、必要に応じて追記すること。 参考書を用意する必要がない場合は利けないした入力すること。			
成績評価方法・評価基準 Assessment methods and sriteria	必须	出席点は記載しない。できるだけ接数の評価方法(各割合の数値化を推奨)を用いて、総合的に評価する基準(日本語表記・英語表記)を 入力し、トータルで100%となるよう入力すること。 (生成3)利用の可否も可能な限り記載すること。(目的:情報収集、文書校正、語訳、フログラミングの補助等)			
原修条件 Excellment conditions	必須	履修条件(日本語表記・英語表記)を入力すること。条件がない場合は、「特になし」と入力すること。			
Enrollment conditions オフィスアワー	任意				
Office hours 担当教員への連絡方法	任意				
instructor contact information 支持経放のある教員による実践的授業 Hande-on classes by instructor with work experience	必須	侵楽担当者の実務経験及び実務経験をどのように生かして授業を行うか(日本語表記・英語表記)を入力すること。学外者による授業や・ンターンシップ・実習等を中心とした授業の場合はその内容を入力すること。 参唱しない場合は「蘇斯なし」を選択すること。			
SDGs Sustainable Development Goals	必須	チェックボックスから次の18の選択後のうち級当する項目を選択(複数可)すること。 力対関をなくそう。2数間をゼロにはすべての人に関節と構造を引着の高い数百をみんなに思ジェング・平等を実現しよう必要金な水とト 化と管理学中にヴェネルギーをみかなにそしてフリーンに高過さか、は経済成長も効度変と技術革命の基礎をつくろう添入や面の不平等 をなくそう性を水焼けられるまちづくがを立つくる責任・から責任が外裁疾動に具体的な対策を依海の並かさを守ろう添修の並かさも守ろ 5が手程となりますべての人にプリートナーシップで自然を提及しよう認識された。			

授業計画書の公表方法

https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/post-250.html

- 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、 学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定して いること。
- (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

鹿児島大学では、鹿児島大学学則第42条の2第2項で「各学部等は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。」と規定し、さらに、各学部規則にも同様に規定し、各授業科目のシラバスにおいて、具体的に成績の評価基準を明示して、それに基づいて、厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。

また、令和2年度に全学の成績評価に関するガイドラインを策定し、令和3年度以降当該ガイドラインに基づき厳格かつ客観的な成績評価を行っている。

- 3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。
 - (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全学的にGPAを取り入れている。共通教育科目等においては、 GPA制度による成績評価を行っている。それに基づいて、半期に 1回、全学を対象に優秀な学生には表彰を、またGPAが低い学生 には低学年時の早期から助言や指導をおこなっている。

GPA値は次の式で算出している。

項目	学習達成度	評語	GPの値
	90%以上	A	4点
	80%以上90%未満	В	3点
成績評価及び評語	70%以上80%未満	С	2点
	60%以上70%未満	D	1点
	60%未満	F	0 点
単位認定科目及び他大学等単 位互換により単位を修得した 科目の成績評価	認定	Р	
GPAの算出方法	(学期・年間・通算) $GPA = (4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F) / (n_A + n_B + n_C + n_D + n_F)$ 注) nA 、 nB 、 nC 、 nD 、 nF は、それぞれ当該期間に履修した科目 OA 、 B 、 C 、 D 、 F に対応する総単位数とする。		

また、全学の学部生の授業料免除対象者の学力基準の一つとして、学業成績指標を用いて判定している。(学業成績指標が2.0以上の者)

学業成績指標= (秀(A)・優(B)の単位数×3点十良(C)の単位数× 2点十可(D)の単位数×1点)÷合計修得単位数

客観的な指標の 算出方法の公表方法 https://www.kagoshima-u.ac.jp/educenter/gpa.html https://www.kagoshimau.ac.jp/education/2023_menjo_gakuryoku.pdf 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

鹿児島大学では、全学(鹿児島大学)の卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)を定めて公表している。さらに、各学部においても、この全学の方針に沿って、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)を定め、また、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)も併せて公表している。

卒業の認定の際には、これらの方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に卒業を認定している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法 https://www.kagoshimau.ac.jp/education/eoplcmnm.html